大雪の麓～ひがしかわ的観光イズム

日常のマチ並みが観光素材

観光といえば、リゾート地や温泉、アクティビティや食など、普段の暮らしから飛び出して非日常を味わうような体験が観光の醍醐味ですね。東川町は大雪山国立公園を有し、北海道最高峰旭岳をはじめとする自然景観や温泉、キトウシ森林公園などのレジャー施設や、町内には木工や家具のギャラリーやカフェなど、大小多くのショップが点在しており、観光的要素がたくさんありますね。週末にもなれば、道の駅をはじめ、多くの人で賑わう光景が当たり前のようになってきました。とくに市街地エリアは、道の駅に車をおいて徒歩でショップなどを行き来したりできるコンパクトさが魅力です。

目的のお店に行くだけでも楽しいですが、東川のマチなかを知るとより楽しみが増えたりします。例えば、町内のお店には「木彫看板」が掲げられていますね。お店のイメージ毎に１つ１つデザインが違います。1984年に町の商工会青年部が欧州に視察に行った際に、鉄を使った看板が掲げられている街並みにヒントに、木工のマチとして木彫看板で活性化できればと始まった取り組みです。材料は町木である「カツラ」が使われており、現在100基以上あります。木彫看板の背景を知ることで、看板の見方も変わってきますね。また目線を下におろすと東川町にはオリジナルマンホールがあり、旭岳やカメラなどがデザインされています。ほかにも４種類ありそれを探してみるのも楽しいですね。

アグリテックでは、このような東川の魅力を散策しながら案内する「マチ歩きガイドツアー」もおこなっています。ただ散策するだけでなくこのような案内人がいると、また違う視点でマチを楽しめると人気のプログラムのひとつになっています。

ガイドをするのは、弊社スタッフはじめ観光ガイドスタッフとして登録いただいている町民のみなさまです。現在４名のガイドさんがいますが、ぜひみなさんも自身の住む東川町の魅力を観光ガイドとして案内してみませんか？アグリテックでは、ガイドの育成講座もおこなっていますので誰でも案内人になることができます。地域の歴史や自然、文化、そして交流などを求めている観光客も多く、暮らし自体が観光資源になります。自分の住んでいる町を知りながらあらためて魅力を知り、多くの人に東川の魅力をいっしょに発信してみませんか。（つづく）

アクティビティ提供専門ショップ「HAC」
㈲アグリテック代表　中田浩康

俳句

福寿草我今朝ついに黄金色　斎藤夕桜
風光る迫るハイハイまっしぐら　山内みゆ
五月雨が私に水をあげている　八田昌代
放流す鮭の赤ちゃん春寒し　横田則子
いいことがあったらお言い猫の恋　石澤清宏
新入生手上げ駆ける子未来継ぐ　杉山りつ
手を打てば顔出す声出す春の庭　高瀬潤
春光やのぞいてみるか内視鏡　三島智
補助輪をはずす挑戦クロッカス　若田郁
赤子に聴かせるママヴィヴァルディの春　佐々木りえ
春愁い夫は優しく嘘をつく　保科なほ
就職も決まらぬままの卒業式　本田咲
高らかにあくび未来に向けて春眠　こばやし星来
やわらかにドレミファソラシド土筆坊　杉山ひろのり

一緒に俳句を楽しみませんか
～みんなが先生でみんなが生徒～
３ヵ月ぶりに一堂に会しての句会を楽しみました。コロナが収まり普通に句会を開けるようになることを願っています。

１２０年の伝統を受け継ぐ
東川町ヌタップ吟社
本田☎82－3952